

# 道

2019年10月1日  
(第49号)



小西真理子著『共依存の倫理』

〈ケア〉を考える会@京都で、大阪大学〈臨床哲学〉の小西真理子講師を迎えて「共依存」をテーマに学び対話している。「共依存」はアメリカでアルコール依存症の臨床にて生まれた概念である。アルコール依存症の夫と、その支え手である妻。そこに、屈折した愛情、支配、暴力、献身、もたれあい、生活破綻などが入り込む。そうした症状や関係性の意味を含んでいるのが「共依存」だ。今ではその対象も広がっている。▼僕の父母がこれに該当することを、この会で思い知る。そしてその負の遺産を僕が受け継いでいるのではないかと感じ複雑な気持ちになる。▼父は、なぜ酒に溺れたのか。父の戦争体験が大きな影を落としているのではないかと思われてならない。父は、旧ビルマ、タイなどインドシナ半島に従軍した。その状況は壮絶を極めたと言われる。父は何を見、どんな体験をしたのだろうか。酒で、その影を振り払っていたのかも知れない。酒を飲んでない普段の父からは、酔い狂い母に暴力をふるう姿は想像できない。母は一度だけその父から離れるが、半年ほどで元に戻る。「共依存」は続いた。▼僕は、「共依存」を否定的に捉えていた。しかし、今、これを受容することも大事ではないかと思うようになった。嫌いだった父を受け入れ、そして、弱い自分をも受けとめる。そこに、救いの道が生まれることを信じて。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林道也



遠田 椋の木

遠田地区から真備町中心部を望む。  
中央が小田川堤防。椋の木はどこ？

